

多摩市立中央図書館管理運営方針(素案)の市民説明会における質疑・意見について

開催日時・場所・参加者数: ①令和4年9月8日(木)19:00~20:15・関戸公民館大会議室・11人
 ②令和4年9月9日(金)19:00~20:30・消費生活センター講座室・11人
 ③令和4年9月10日(土)14:00~15:50・図書館本館閲覧室・14人

質疑・意見数:24件

※網掛け部分:多摩市立中央図書館管理運営方針を素案から原案へ更新するにあたって意見を反映・修正した項目

No	章	章名称	質疑・意見(要約)	市の考え
1	1	「知の地域創造」のための図書館を目指して	「多摩市立図書館の全館ネットワークのあり方にも変化が出てくるのが想定されます」とあるが、どのくらいの期間を使ってどのような変化を見るのか。また、行政管理課主導で豊ヶ丘複合館・東寺方複合館の改修に関する話し合いが行われているが、図書館も深く関わってほしい。	中央図書館開館から1年間程度は全館の利用状況を注視し、中長期的な管理運営のあり方を検討していきます。中央図書館ができたから地域図書館を廃止するというのではなく、利用状況を見ながら利用しやすい地域図書館にしていきたいと考えています。複合施設改修の検討の事務局は企画政策部行政管理課ですが、情報は共有しています。整備方針の共同検討会が始まり、内容も把握しています。コロナ禍前のワークショップには図書館職員も参加し、意見をさせてもらった経緯もあります。引き続き行政管理課と情報共有・意見交換をしていきます。
2	1	「知の地域創造」のための図書館を目指して	子どもの読書については、現在「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」があり、第三次は2023年までだが、その後については「多摩市読書推進計画」とともに持続していくと思う。長期事業計画の中に、子どもの読書活動推進計画をしっかりと明記してもらいたい。	多摩市読書活動振興計画の中でも多摩市子どもの読書推進計画との関係性は説明しているところで、多摩市全体の事業計画としては、読書活動振興計画になります。子どもの読書活動に関しては、25ページに第三次子どもの読書活動推進連絡会について記載のあるところではありますが、ご意見をもとに、長期事業計画のなかでもわかりやすい記載を検討します。
3	1	「知の地域創造」のための図書館を目指して	多摩市読書活動振興計画の改定では、地域館を含む図書館全体の具体的な中期計画として欲しい。	図書館の中・長期的な計画は、「多摩市読書活動振興計画」の改定の際に図書館の基本計画、サービス計画の位置づけで策定します。中央図書館開館後、全館ネットワークのあり方にも変化があると想定されますので、それらも踏まえた計画としていきます。
4	1	「知の地域創造」のための図書館を目指して	中央図書館が目指すべき数値目標が設定されていない。他市に誇れる1番を目指した目標設定をしてほしい。	多摩市は全国の市民15万人未満の自治体の中でも、市民一人当たりの貸出冊数・予約点数ともに2位、3位と非常に利用が多いのが特徴です。引き続きキープ、増やしていきたいと考えています。管理運営方針の中では具体的な数値目標を打ち出していませんが、毎年度定める事業計画の中で目標を定め、実績を評価していきます。
5	2	中央図書館の施設	ステッププラザはいらない。ステッププラザをなくして本棚を置いたほうがよい。2階のBGMが1階に流れてしまうと、ステッププラザでのイベント開催で1階がうるさくなってしまう。	ステッププラザは、建物の中心に位置しており、イベントを開催する他、公園とまちをつなぎ周辺の回遊性を高める役割を期待しています。すでに建物を建設中のためやり直しはできませんが、ステッププラザでのイベント開催については中央図書館を利用される方の理解を得られる方法を検討していきます。

No	章	章名称	質疑・意見(要約)	市の考え
6	2	中央図書館の施設	エスカレーターはなぜ導入することにしたのか。うるさくないのか。	エスカレーターは、当初の設計提案の中にあつたものを、基本設計段階ではコスト面を理由に一旦は断念しましたが、中央図書館内外のメイン動線のひとつであることや今後の高齢化社会を見据えた際には標準設備になってくることを予想し、実施設計段階で設置することにしました。館内の静音性を確保するため、エスカレーターと階段の間に壁を設けて遮音性を高めるとともに、一定時間利用者がいない場合は低速運転に切り替えて運転音を低減する機能を設けます。
7	2	中央図書館の施設	トイレの入口近くまで書架があるので、気になる。	書架については、より多くの資料を収蔵するために通路幅などにも配慮しながら、可能な範囲で多く設置しています。トイレ入口付近まで書架はありますが、気にされる方がいらっしゃることを認識しましたので、本の置き方の工夫をするなどして対応していきます。
8	2	中央図書館の施設	中央図書館の建設に伴い、多摩中央公園の2つあったトイレのうち1つがなくなった。過去のワークショップで公園利用者が24時間利用できるトイレを中央図書館につくってほしいと言ったが、どうなったのか。	公園トイレのように24時間利用できる、外からも中からも使えるトイレの整備を検討しましたが、施錠や図書の持ち出し防止の観点から整備が難しく、断念しました。公園利用者が多い土日祝日や夜間の開館時間を延長しており、開館時間中は公園利用者も中央図書館のトイレを利用することができます。
9	2	中央図書館の施設	へなそうるのへやは「『もりのへなそうる』の世界観にふれられるスペース」とするのではなく、多摩の図書館だからこそでできる渡辺茂男氏の功績を記念するスペースとしてもらいたい。	「へなそうるのへや」は、現本館の名称を引き継ぎ、多摩市にお住まいになった児童文学作家の渡辺茂男さんの著書や人物像、功績を記念するスペースです。いただいたご意見を参考に表現を工夫します。
10	2	中央図書館の施設	広い範囲でガラス張りが採用されているが、紫外線の影響で本を傷めてしまった事例もある。図書館にとってのメリットはあるのか。	図書館の中で公園の緑を感じていただけるようにするために採用しています。本が日焼けしないように西日の影響を考慮して庇を長くとり、ロールスクリーンを設置する等の対策をしています。
11	2	中央図書館の施設	電話室は2階に置いたほうがよいと思うが、1階に置く理由は何か。	館内は原則として携帯電話の通話を禁止しますが、通話したいという要望もあると認識しています。1階の階段下にスペースがあり、施設の効率的な活用の観点からこの位置を電話室としました。
12	2	中央図書館の施設	夜間や休館日に地下2階の車が入ってくる部分の管理はどうするのか。	夜間は車が入らないようにチェーンをかけるつもりです。また、休館日の日中は職員が出勤しており、連絡車等の車が入庫するため、チェーンは外すつもりです。

No	章	章名称	質疑・意見(要約)	市の考え
13	2	中央図書館の施設	最終的に建設費はどれくらいになるのか。増額の経緯を説明してほしい。	建設費は、基本計画段階の概算では39億円程度でした。設計段階ではZEB Readyという環境配慮技術の導入や太陽光パネルの設置に取り組むこととして、予算ベースで43億円程度に増額しました。建設工事がはじまってからも天候不良の影響で土砂の処分が遅れたことによる処分費の増額や工期の延長、労務単価や物価の高騰等により段階的に増額の契約変更を行っており、現在は予算ベースで44億円程度になっています。
14	3	中央図書館の資料	多摩市には様々な市民活動があり、その記録を地域資料として保存してほしい。	多摩市での様々な市民活動の記録等については、現在行政資料室にて収集しており、館内閲覧等を行っております。中央図書館においても、市民の方から直接情報の収集ができるようなしくみを考えていきます。
15	4	中央図書館の機能とサービス	児童サービスは、子どもへのサービスだけでなく、子どもの読書に関わる大人へのサービスについてもきちんと明記すべき。	子どもの読書に関わる大人へのサービスについては「児童書の研究書等、子どもの読書に関わる方向けの資料も配置します。」の一文を追記します。
16	4	中央図書館の機能とサービス	児童サービスを提供する大人、関わる親や大人を育てることがとても大事。子どもに接する大人への講座や勉強会などの機会を増やしてほしい。	市民向けの読み聞かせ講座を従来より実施しておりますが、市民の方々のご要望を把握しながら引き続き充実に努めてまいります。
17	4	中央図書館の機能とサービス	印刷製本室の点字プリンターそばに作業台をつくってほしい	印刷製本室は狭いスペースですが、ボランティアの方々が作業しやすいように工夫したいと考えています。
18	5	管理運営の主体と各館の役割	地域館にそれぞれに館長を配置してほしい。地域館の職員が減らされることなく、今の体制が守られるよう要望する。	各館への館長の配置は予定していませんが、地域館は、立地、利用状況、利用者の要望などを把握し運営していくように努めていきます。今図書館を使っている利用者を大切にすることは当然と考えており、そのためのサービスを継続しながら、人員を確保できるようにしていきます。
19	5	管理運営の主体と各館の役割	中央図書館は充実したサービスを支える職員が絶対的に足りない。減らさないのは当たり前で増やさないと維持できない。図書館職員を増やす英断が必要だ。	市は図書館だけでなく、市民の生活、福祉、教育など様々な分野に職員を充てなければなりません。そのため、図書館の職員数を増やす約束はできませんが、ご意見は背中を押してくれるものと受け止めています。
20	5	管理運営の主体と各館の役割	図書館協議会では事業評価に多くの時間を割き、他の議論ができていないと感じる。事業評価以外にも色々な問題について討議・協議してもらいたい。	図書館は、毎年度の事業計画を策定して、翌年度には事業評価をするということを平成30年度から始めています。そのなかで、自己評価と図書館協議会の評価をして、次の計画に続けるというのは、実際にやってきて意義があることだと認識しています。確かに事業評価と中央図書館の議題がメインになっていて、時間がかかっている、他のこともやってほしいというご意見も理解できますので、できるだけ議論の効率化を図りながら、今後、様々な議題をあげて議論していくことを検討します。

No	章	章名称	質疑・意見(要約)	市の考え
21	6	施設管理・運営条件	2階のBGMは不要	現図書館は周りの目を気にして静かにしなければならないという雰囲気がありますが、中央図書館の2階は広場系開架として、静かにしなければならないという雰囲気をなくしたいと考えています。BGMがあれば会話をしても良いという雰囲気ができるのではないかが狙いです。BGMは鳥のさえずりなど気にならない程度のものを考えています。ご意見を参考にしながら運営する中で柔軟に対応していきます。
22	6	施設管理・運営条件	中央図書館は、私語を慎み静かな図書館にしてもらいたい。他人の私語はとても気になる。	中央図書館は2階を広場系開架、1階を静寂系開架と位置付けています。図書館では静かにしなければならないという意見もありますが、計画段階では静かにしなければならない環境では居心地が悪いという意見もあり、フロアで使い分けをしています。2階フロアは、公共の場として節度ある会話や声の大きさでご利用いただきます。1階フロアには静かな空間で周りの音を気にせず読書ができる静寂読書室も用意しています。
23	6	施設管理・運営条件	IFの駐輪場は歩行者と交錯して危険ではないのか。	1階の駐輪場に入出入りする自転車と、付近を通行する歩行者等が交錯する事故を未然に防ぐため、レンガ坂の所管部署とも連携しながら安全対策を講じるつもりです。
24	6	施設管理・運営条件	中央図書館にはフリーwi-fiを導入することだが、地域館への導入は図書館として考えていないと聞いた。公共施設にフリーwi-fiを導入するように働きかけてもらいたい。	地域館にフリーWi-Fiの導入予定はありませんが、複合施設改修の検討の様子を注視しながら、利用者からの要望があるということを図書館としても関係部署に意見していきます。